

05
謹賀新年
旧年中は格別のご高配にあずかりましたこと
心より御礼申し上げます
本年も皆様にとって佳き年でありませう
心よりお祈り申し上げます
令和六年 元旦
〒150-0000 東京都港区●●●●●●●●●●1-2-3
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000
株式会社理光日本 代表取締役 理光 太郎

06
謹賀新春
辰
輝かしい新春をお迎えのことと存じます
旧年中は格別のお引き立てを賜り
厚く御礼申し上げます
本年も皆様にとって佳き年でありませう
心よりお祈り申し上げます
2024年 元旦
〒150-0000 東京都港区●●●●●●●●●●1-2-3
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000
株式会社理光日本 代表取締役 理光 太郎

07
謹んで新春のお慶びを
申上げます
新年を迎え
皆様のご厚情を感謝し
お祈り申し上げます
本年も旧年の
ご指導を賜りますよう
心よりお祈り申し上げます
令和六年 元旦
〒150-0000 東京都港区●●●●●●●●●●1-2-3
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000
株式会社理光日本 代表取締役 理光 太郎

08
謹賀新年
今年が皆様にとってよりよい年になりますよう
心よりお祈り申し上げます
2024年 元旦
辰
〒150-0000 東京都港区●●●●●●●●●●1-2-3
理光 太郎

21
謹んで
新春のお慶びを
申上げます
旧年中は一方ならぬご厚情を賜り
誠にありがとうございました
本年も旧年のご指導を賜りますよう
心よりお祈り申し上げます
令和六年 元旦
〒150-0000 東京都港区●●●●●●●●●●1-2-3
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000
株式会社理光日本 代表取締役 理光 太郎

22
新春を寿ぎ謹んでお慶び申し上げます
輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます
皆様ますますのご活躍とご健康をお祈り申し上げます
令和六年 元旦
〒150-0000 東京都港区●●●●●●●●●●1-2-3
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000
株式会社理光日本 代表取締役 理光 太郎

23
謹賀新年
旧年中は一方ならぬ
ご厚情を賜り厚く御礼申し上げます
本年も旧年のご指導を賜りますよう
心よりお祈り申し上げます
令和六年 元旦
〒150-0000 東京都港区●●●●●●●●●●1-2-3
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000
株式会社理光日本 代表取締役 理光 太郎

09
恭賀新春
新年の光を受けて今年も益々の
ご発展をお祈り申し上げます
本年も旧年のご指導を賜りますよう
心よりお祈り申し上げます
令和六年 一月一日
〒150-0000 東京都港区●●●●●●●●●●1-2-3
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000
株式会社理光日本 代表取締役 理光 太郎

10
恭賀新春
新春を迎え
皆様のご厚情を感謝し
お祈り申し上げます
本年も旧年の
ご指導を賜りますよう
心よりお祈り申し上げます
令和六年 元旦
〒150-0000 東京都港区●●●●●●●●●●1-2-3
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000
株式会社理光日本 代表取締役 理光 太郎

11
謹賀新春
旧年中は格別のご指導お引き立てを賜り
厚く御礼申し上げます
本年も旧年のご指導を賜りますよう
心よりお祈り申し上げます
令和六年 一月一日
〒150-0000 東京都港区●●●●●●●●●●1-2-3
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000
株式会社理光日本 代表取締役 理光 太郎

12
謹んで新春のお慶びを申し上げます
旧年中のご愛顧に心から御礼申し上げます
今年も一層のお引き立てをよろしくお願い申し上げます
令和六年 元旦
〒150-0000 東京都港区●●●●●●●●●●1-2-3
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000
株式会社理光日本 代表取締役 理光 太郎

24
恭賀新年
新年は一方ならぬご厚情にあずかり
誠にありがとうございました
本年も旧年のご指導を賜りますよう
心よりお祈り申し上げます
令和六年 元旦
〒150-0000 東京都港区●●●●●●●●●●1-2-3
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000
株式会社理光日本 代表取締役 理光 太郎

25
謹賀新年
旧年中は一方ならぬご厚情を賜り
厚く御礼申し上げます
本年も旧年のご指導を賜りますよう
心よりお祈り申し上げます
令和六年 元旦
〒150-0000 東京都港区●●●●●●●●●●1-2-3
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000
株式会社理光日本 代表取締役 理光 太郎

26
謹賀新年
旧年中は一方ならぬご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます
貴社益々のご繁栄をお祈り申し上げます
令和六年 元旦
〒150-0000 東京都港区●●●●●●●●●●1-2-3
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000
株式会社理光日本 代表取締役 理光 太郎

13
新春を寿ぎ謹んで
お慶び申し上げます
旧年中は一方ならぬご愛顧を賜り
厚く御礼申し上げます
貴社益々のご繁栄をお祈り申し上げます
令和六年 元旦
〒150-0000 東京都港区●●●●●●●●●●1-2-3
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000
株式会社理光日本 代表取締役 理光 太郎

14
謹賀新年
新年は一方ならぬご高配にあずかりましたこと
心よりお祈り申し上げます
本年も旧年のご指導を賜りますよう
心よりお祈り申し上げます
令和六年 元旦
〒150-0000 東京都港区●●●●●●●●●●1-2-3
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000
株式会社理光日本 代表取締役 理光 太郎

15
HAPPY NEW YEAR
今年が皆様にとってよりよい年になりますよう
心よりお祈り申し上げます
2024.1.1
辰
〒150-0000 東京都港区●●●●●●●●●●1-2-3
理光 太郎

16
謹んで新春のお慶びを
申上げます
新年を迎え
皆様のご厚情を感謝し
お祈り申し上げます
本年も旧年の
ご指導を賜りますよう
心よりお祈り申し上げます
令和六年 元旦
〒150-0000 東京都港区●●●●●●●●●●1-2-3
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000
株式会社理光日本 代表取締役 理光 太郎

27
HAPPY NEW YEAR
今年も昨年以上に楽しい年になりますね
今年もよろしくお祈りいたします
2024.1.1
辰
〒150-0000 東京都港区●●●●●●●●●●1-2-3
理光 太郎

28
謹賀新年
旧年中はいろいろとお世話になりました
本年もよろしくお祈りいたします
令和六年 元旦
〒150-0000 東京都港区●●●●●●●●●●1-2-3
理光 太郎

29
あけまして
おめでとうございます
ご健康をお祈り申し上げます
令和六年 一月一日
〒150-0000 東京都港区●●●●●●●●●●1-2-3
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000
株式会社理光日本 代表取締役 理光 太郎

17
謹賀新年
旧年中は一方ならぬご愛顧を賜り
厚く御礼申し上げます
貴社益々のご繁栄をお祈り申し上げます
令和六年 元旦
〒150-0000 東京都港区●●●●●●●●●●1-2-3
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000
株式会社理光日本 代表取締役 理光 太郎

18
恭賀新春
旧年中は格別のご高配にあずかりましたこと
心より御礼申し上げます
本年も旧年のご指導を賜りますよう
心よりお祈り申し上げます
令和六年 一月一日
〒150-0000 東京都港区●●●●●●●●●●1-2-3
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000
株式会社理光日本 代表取締役 理光 太郎

19
謹賀新春
旧年中は一方ならぬご厚情を賜り
厚く御礼申し上げます
本年も旧年のご指導を賜りますよう
心よりお祈り申し上げます
令和六年 元旦
〒150-0000 東京都港区●●●●●●●●●●1-2-3
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000
株式会社理光日本 代表取締役 理光 太郎

20
あけまして
おめでとうございます
旧年中はいろいろとお世話になり
ありがとうございました
本年もよろしくお祈りいたします
令和六年 元旦
〒150-0000 東京都港区●●●●●●●●●●1-2-3
理光 太郎

喪中はがき
年賀欠札の挨拶なので、年内に届けば問題ありませんが、実際の世間の慣習では、先方が年賀状の準備にとりかかる前の、11月中旬から、遅くとも12月初旬には届くように出すのがマナーです。
喪中につき年頭のご挨拶を差し控えていただきます
誠に勝手ではございますが、ご遠慮させていただきます
令和五年 十二月
理光 太郎
33
喪中につき年頭のご挨拶を差し控えていただきます
誠に勝手ではございますが、ご遠慮させていただきます
令和五年 十二月
理光 太郎
34
喪中につき年頭のご挨拶を差し控えていただきます
誠に勝手ではございますが、ご遠慮させていただきます
令和五年 十二月
理光 太郎
35
喪中につき年頭のご挨拶を差し控えていただきます
誠に勝手ではございますが、ご遠慮させていただきます
令和五年 十二月
理光 太郎